

# 法改正後の委員選出は

## 町長が7人選任し 議会の同意を得る



尾形英明議員  
(新生会)

**問** 農業委員会法の改正に伴う改革での委員の定数の算定根拠と選出方法は。

**佐藤町長** 今まで国が示す上限の半数で運営してきたため、今回も14人の半数の7人とし、町長が議会の同意を得て任命する。

**問** 農業委員と農地利用最適化推進委員の具体的な業務内容は。

**町長** 農業委員は農地の売買や賃借の許可権限、県知事宛てに提出される農地転用許可申請の意見具申等の業務に、新しく農地等利用の最適化の推進が加わった。

農地利用最適化推進委員の業務は、農業委員と密接に連携しながら、担い手への農地利用の集

積・集約化や耕作放棄地の発生防止・解消等、担当区域の現場活動を行う。法改正の趣旨のとおり農地等の利用の最適化が推進されると考える。



工事が進む県道宮古山田線

**問** 山田駅前商店街の関係団体とオープン時期は。

**町長** 商工会や出店する共同店舗棟建設運営会社などで、ことし9月に一部オープン予定である。

**問** 一般県道宮古山田線の豊間根・羽々の下地区から石峠地区までのルートへのアクセス道路整備の考えは。

**町長** 町では新たなアクセス道路の整備は考えていないが、町道白山・石峠線や町営桜野団地前の公衆用道路に接続することで県と調整している。

**問** 28年度に国土調査を行う場所は。

**町長** 27年度の石峠地区の未着手部分と豊間根第1地割の一部等を予定している。

### 駅前商店街のオープン時期は

#### 9月に一部オープン予定

**問** 「農村地域復興再生基盤総合整備事業」の荒川工区はどうなったか。

**町長** 現時点で事業着手できていないが、土地改良区が改めて地区説明会を開催するなど、合意形成に向けて取り組んでいる。

**問** 工場等の新・増設に對し用地提供に努めると言っているが、どんな形で提供するのか。

**町長** 企業が求めるアクセスや地盤、地形、面積など条件を考慮し、候補地を選定する。

#### その他の質問

- ◆ 鉄路利用促進の具体的な取り組みは
- ◆ 豊間根地区排水路整備の場所は
- ◆ 教育行政に関する所信